

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394100099
事業所名	グループホーム百の木東海

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 日課の散歩では、立ち話あり、農作物や果物をくださる等、日常的な馴染みの交流がある。ホームへの到来物も多く、「良かったら食べて～」のご近所の方からの声掛けには、利用者も大喜びである。季節の花をいただくお付き合いもある。地域ボランティアの受け入れも積極的にいき、日常の中で自然に交流できる環境を作っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 年6回の会議開催がある。ホームの運営報告を主として、課題や問題点などを話し合っている。活発な意見交換の場となっており、助言や提案を聞ける、有意義な会議である。地域の情報収集や情報交換の場としても一役買っており、ホームが協力できる事、地域や行政に協力してもらえらること等を具体的に話し合っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 地域包括支援センターの運営推進会議参加が得られ、ホームの理解と実状把握につながっている。その上での利用者紹介もあり、適切に連携している。また、市が推進する地域包括ケアにおける認知症部会に参加し、オレンジプラン推進に参画している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 運営推進会議や家族会、ホーム行事への参加を通じ、ホームと利用者・家族の縦のつながりだけでなく、家族同士、ホームを理解する者同士の横のつながりでも意見表出が出来ている。また、面会時や電話連絡時等での直接の聴き取りでも、意見や提案、意向や希望等を聴き取り、内容は職員周知で迅速に実現に向けて取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	○	◎			